

陳 情	受 理 番 号	176	受 理 年 月 日	令和3年2月3日	付 託 委 員 会	厚生経済
件 名	新型コロナウイルス感染症の影響による深刻な経済不況下におけるまちなか文化経済の中心地である通り会活動を継続するための支援について					

新型コロナウイルス感染症の影響による深刻な経済不況下における
まちなか文化経済の中心地である通り会活動を継続するための支援について
(陳情)

(陳情の要旨及び理由)

戦後の混乱期を通じ、那覇市民の暮らしを支え本市中心部において大きな賑わいを築いてきた牧志中央商店街は、戦後経済復興の原動力としてこれまで大きな役割を果たして参りました。

しかしながら、昨年2月に県内において新型コロナウイルスの初感染が確認されて以降客足は遠のき、再三にわたり発令された緊急事態宣言下において長期化する経済的打撃は非常に大きく、深刻化する地元客の商店街離れと観光客の減少に伴い閉鎖する店舗や休業に追い込まれる店舗が後を絶たず、私共通り会においても存亡の危機に立たされていると言っても過言ではありません。

戦後復興からの市民生活を支え、本市観光の大変重要な歴史ある訪問場所としても役割を担ってきたこれまでの経緯を十分に考慮して頂きたく、私共通り会に対する公的支援を下記の通り要望させて頂きます。

私共の切実な実情を汲み取って頂き、通り会が今後も活動の継続を維持して頂けます様、重ねまして衷心よりお願い申し上げます。

記

・要望事項

コロナ禍における各会員の経済的事情を考慮し、昨年来の一年間において通り会全体の公共に資する活動を円滑に図るための年会費徴収を実施しておらず、今後の私共通り会そのものの活動の維持が困難となっております。

会員の負担軽減を図ると同時に那覇市文化経済の発信地としての役割を担ってきた通り会の運営維持存続を図るべく今後経済状況が上向きになる当面の間、年会費同等の公的支援をお願い申し上げます。